

～採用時の留意点、業界として取組むことは～」

外国人労働者 鍵は待遇と目的の共有

第一工芸・綿谷社長

久永氏

「看板の業種登録を望む」 高橋氏

「能力に合わせた給与体系を」
佐野氏

ACROSEED・佐野社長

「採用の仕組みを考える」 峯元氏



この本は、
フレイ
ない

ブンカ巧芸社・峯元社長

などがあったらしく、
いろいろ聞いてみると、
教育の仕方・内容があっ
た。

昔の日本・気質だと、
社員が間違えしまった
時、つい手をと突いてし
まう。それがバートナム
にとつて苦痛だったよ
うだ。間違えても、手は決
して出さないということ
を日本人の社員「徹底・
指導させよう、心がけ
て。」

佐野「外国人の雇用は彼
らに一番重要なことは、お
うかがを目的に日本に來
ているのか、なぜ、この

会社を働かしている
のかにあると思う。」
正社員であれば安定し
た生活のため、日本に
長々住みたい。一方、技
能実習生は、制度の目
上は技能を覚えることだ
が、実態は短期の出稼
ぎ、3年間以上の福利受
金を受けられないのかにあ
る人も多い。

ため、これに対して会社
がきちんと対応してい
たら、トランプは起きてし
まう。注意が必要だと思
う。